

令和2年10月19日

宮崎市長 戸敷 正 殿

小戸地区自治会連合会 会長 中川洋一
ニシタチまちづくり協同組合 理事長 齊藤友亮

日米共同訓練に伴う米軍人の宿泊施設外行動に関する要望書

新聞等にて、10月26日から新田原基地において実施される在日米軍再編に伴う日米共同訓練において、宮崎市中心市街地内ホテルにて宿泊を予定していると連日報道されています。報道も日に日に変わり、ついには「夜間外出、外食の可能性もある」との内容を受け、別紙自治会全体総意の上、小戸地区自治会連合会及びニシタチまちづくり協同組合連名にて、下記のとおり要望書を提出いたします。小戸地区自治会連合会、ニシタチまちづくり協同組合の名簿については、別紙添付いたします。

記

1. [要望の内容]

仮に米兵約200名が中心市街地内ホテル（小戸地区エリア）に宿泊するという事になった場合、米兵が夜間等に外出し、市街地（主にニシタチ）の飲食店などで外食等をすることがないように、『ホテルから外出しない』よう強く要望します。

2. [要望の目的・理由]

今回の中心市街地内のホテル利用は、あくまでも「新田原基地内の宿泊施設を新型コロナウイルス感染症に係る濃厚接触者等の隔離施設として利用する」ため、「基地内での宿泊対応ができない」ことによるものと聞いています。通常の基地内での宿泊の場合、食事は基地内食堂にておこないます。なのであれば、これまでの合同演習での基地内宿泊と同じように基地外に出ることが無いよう対応いただくことが、自然だと考えます。仮にニシタチにて米兵200名が飲食をする可能性があるまま中心市街地内のホテルに宿泊されることになると、以下の点が危惧されます。

- ア) 市民感情には、事件事故を連想、心配するものがある
- イ) 市民感情には、アメリカと日本の新型コロナウイルス感染症の実態（アメリカは死者、感染者共に実数が大きい）から、より強い同ウイルス感染を恐れる声がある
- ウ) ア) イ) の理由から、宿泊期間中、ニシタチの通常客が一気に減る可能性が多大にある

3. [要望総括]

日米共同訓練について、反対の意見を持っている地域住民及びニシタチ事業者は少なく、国防や安全保障のための訓練への理解は得られていると思います。ただ、今回、あまりにも唐突に、「基地外での“外出を許可する宿泊、”」が告げられ、これに関する県民の一般的認識から、本件宿泊期間にニシタチの賑わいが大きく減じた場合の経済的ダメージの責任と補償が見えないことで、ニシタチ事業者は大きな不安と危機感を持っています。市におかれましては、県と連携し、国当局に対し、「外食等を目的とした夜間外出」を中止し、宿泊施設内にて夕食会場等を設営し対応するように、米軍側と強く交渉していただくよう要望いたします。

以上

文責 ニシタチまちづくり協同組合 理事長 齊藤友亮
宮崎市広島1-3-3秀豊ビル4階